

令和6年度大学コンソーシアムやまがた定期総会議事録

日 時	令和6年7月1日(月) 14:30～15:05		
場 所	山形大学法人本部第一会議室及びZoomによるWeb会議		
出席者	羽陽学園短期大学	:	渡邊 洋一 学長
	鶴岡工業高等専門学校	:	太田 道也 校長
	電動モビリティシステム専門職大学	:	清水 浩 学長
			→代理:小関 俊宏 事務局長
	東北芸術工科大学	:	中山 ダイスケ 副会長/学長
	〃	:	若林 宏 幹事会副委員長/理事・事務局長
	東北公益文科大学	:	神田 直弥 副会長/学長
	東北農林専門職大学	:	神山 修 学長
	東北農林専門職大学附属大学校	:	佐藤 寧 校長
	東北文教大学/東北文教大学 短期大学部	:	須賀 一好 副会長/学長
	〃	:	大桃 伸一 幹事会副委員長/副学長
	山形県立産業技術短期大学校	:	佐藤 俊一 校長
	山形県立保健医療大学	:	上月 正博 副会長/学長
	〃	:	熊谷 岳郎 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形県立米沢栄養大学		
	山形県立米沢女子短期大学	:	阿部 宏慈 監事/学長
	〃	:	渡辺 博幸 幹事会副委員長/理事・事務局長
	山形工科短期大学校	:	小幡 知之 学校長
	山形県	:	五十嵐 裕彦 事業評価委員会委員長/ 総務部高等教育政策・ 学事文書課高等教育政策主幹
	山形大学	:	玉手 英利 会長/学長
	〃	:	大森 桂 幹事会委員長/副学長
欠席者	放送大学山形学習センター	:	安田 弘法 所長
	山形県	:	岡本 泰輔 監事/総務部長
	山形大学	:	栗山 恭直 企画会議委員長/教授
陪席者	山形県	:	鈴木 爽夏 総務部高等教育政策・学事文書課 高等教育政策担主事
	山形大学	:	柿崎 悦子 男女共同参画推進室准教授
	〃	:	東海林守一 総務部長
	〃	:	樋口 浩朗 総務部長付上席専門員兼総務部総務課 社会共創推進事務室長
	〃	:	石澤慎太郎 総務部総務課社会共創推進事務室係長
	〃	:	岡崎 勇樹 総務部総務課社会共創推進事務室主任
事務局		:	今野 浩美 事務局長

会議に先立ち、事務局から幹事会成立の報告があった。

次いで、玉手会長から今年度新たに委員になった4名（神山委員、佐藤委員、岡本委員、大森委員）の紹介があった。

#### [協議事項]

##### 1 役員を選出について

玉手会長から、役員に関する会則の規定について説明の後、始めに会長を選任したいので推薦願いたい旨発言があった。

次いで、会長から、推薦がないことから、慣例により引き続き山形大学長が継続したい旨の提案があり、諮られた結果、承認された。

会長から、あいさつに引き続き、副会長の選任について、これまで担当いただいた機関の方々にお引き受けいただく案が提示され、次のとおり承認された。

副会長	中山	ダイスケ	(東北芸術工科大学)
同	上月	正博	(山形県立保健医療大学)
同	神田	直弥	(東北公益文科大学)
同	須賀	一好	(東北文教大学・東北文教大学短期大学部)
監事	阿部	宏慈	(山形県立米沢栄養大学・米沢女子短期大学)
同	岡本	泰輔	(山形県総務部)

次いで、会長から、幹事会委員長及び副委員長については、6月17日開催の幹事会において、資料1のとおり選出されている旨報告があった。

#### [報告事項]

##### 1 東北農林専門職大学からの入会及び単位互換協定への加入について

事務局から、以下のような説明があった。

令和6年4月に開学した東北農林専門職大学から、資料2のとおり本会加入申込書の提出があり、6月17日に開催の監事会において審議し承認された。東北農林専門職大学附属大学校とは別の機関として入会している。なお、コンソーシアムへの加入については、やまぶらの役員会でも報告し、同大へは、やまぶらの加入についても報告する。

##### 2 令和5年度事業報告(案)について

事務局から、令和5年度事業報告(案)について、資料3に基づき報告があった。

#### [協議事項]

##### 2 令和5年度収支決算(案)について

##### 3 監査報告について

事務局から、令和5年度収支決算(案)について、資料4に基づき、以下のような説明があった。  
(収入について)

- ・ 預金利息について5円を減額補正した。

(支出について)

- ・ 「地域貢献・活性化事業」については、やまがた夜話のチラシ発送料支出等により、10,116円

の増額補正となった。

- ・ 「連携事業」については、単位互換のチラシの作成部数減等により、11,640円の減額補正となった。
- ・ 「広報事業」については、やまがた夜話のチラシ発送費用の支出を見込んでいたが、「地域貢献・活性化事業」からの支出としたため、10,000円の減額補正となった。
- ・ 「大学コンソーシアムやまがた運営費」については、プリンターのトナー等の購入により、56,814円の増額補正となった。

以上、収入決算額5,717,828円から支出決算額の3,980,887円を差引いた1,736,941円が、令和6年度への繰越額となる。

引き続き、阿部監事から、資料5に基づき、令和5年度の会計監査について、適正である旨の監査報告があった。

次いで、会長から両議題について諮られた結果、承認された。

#### 4 令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）及び機関負担金（案）について

事務局から、令和6年度事業計画（案）について、新たに策定した「第4期事業計画」に基づき事業を展開する旨、資料6に基づき説明があった。

引き続き事務局から、収支予算（案）について、以下のような説明があった。

（収入について）

- ・ 資料7-1の収支予算書（案）の機関負担金（会費）収入については、昨年6月に開催の定期総会において資料7（参考）のとおり承認されているが、令和5年度からの繰越金が1,736,941円となるため、資料7-2のとおり、機関負担金を減額する修正案を作成した。
- ・ 減額については、機関負担金の負担金対象者数1人あたりの単価を211.5円から170円に引き下げることとし、併せて、収容定員の変更を反映、東北農林専門職大学を追加し、446,367円減の4,054,760円となる。
- ・ 機関負担金収入、繰越金及び雑収入29円を見込んだ合計5,791,730円を収入予算額とする。

（支出について）

- ・ 支出について、事業毎の予算は、令和5年度の当初予算を基に計上している。
- ・ 新規事業の「共同教育事業」は、ニーズ調査等の経費として50,000円、やまぷら初期戦略に貢献する事業については、300,000円を計上している。

収入予算5,791,730円から支出見込額4,755,000円引いた1,036,730円を予備費とした。

次いで、会長から、資料6の県内進学推進事業について、昨年度やまがた進学交流フェスタを霞城セントラルにおいて実施したが、良かった点としては、複数のブースを回ってくれる高校生もおり、参画機関が一堂に会して実施しなければ、その様なチャンスは無かった。問題は、どこで実施するのか、対面で実施するのかということである。毎年、同じ場所ではなく、県内を回るという方法やオンラインでの実施もあると思う。また、県外でも実施できないのかとも思う。今年度も実施することは決まったが、具体的なことは決まっていないので、ご意見があれば伺いたい旨述べられた。

引き続き、大森委員から、昨年度は山形駅に近い場所ということで、霞城セントラルで開催をした。オープンスペースでの実施のため、他のブースも見ることができたのが良かった。山形市以外での実施やスタンプラリー形式での実施等ご意見があればいただきたい旨述べられた。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり。

- ◎ 入試担当から、ブースに来た人数を確認し、高校での進学説明会との兼ね合いをどうするか等の問題もあるので、持ち帰り検討行い、意見があれば出ささせていただきたい。意見については、共有するのか。
- 意見を共有し、実施できるのかを早く決める必要があるので、どの様な形で実施するのか各大学へお知らせしたい。
- ◎ 東北農林専門職大学がコンソーシアムに加盟したこともあり、新庄で実施してみてもいいか。本学としては、米沢、庄内、新庄が弱いので、加盟の大学の近くで、4か所を持ち回っていいかがか。
- 検討してみたい。
- ◎ 時期的な問題があり、この時期は部活動で高等学校は忙しいので、効率が上がる日程で検討させていただきたい。4か所を輪番で回すことは賛成である。
- 3月の実施も検討したが、大学側が忙しく実施できなかった。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

引き続き、事務局から、7月4日、5日に山形市で開催される東北地区PTA連合会において、県内大学の資料の展示依頼があり、加盟機関から協力いただき、広報資料を配付することとなった旨報告があった。

#### 5 令和7年度機関負担金（会費）（案）について

事務局から、資料8に基づき、以下のような説明があった。

- ・ 例年、来年度予算の要求に必要な機関等もあり、この時期に翌年度の負担金を示している。
- ・ 昨年度の総会において確認いただいた令和6年度負担金を基に、令和6年度の収容定員で計算している。
- ・ 電動モビリティシステム専門職大学、東北農林専門職大学については、新設した機関への配慮として、完成年度までは、入会時の負担額とするよう提案している。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

#### [その他]

##### 1 やまがた社会共創プラットフォームでの検討状況について

事務局から、資料9に基づき、やまがた社会共創プラットフォーム戦略会議での検討状況について説明があった。

資料

- 番号なし ・ 会則
- 資料1 総会委員及び役員名簿
- 資料2 大学コンソーシアムやまがた及び同単位互換協定への加入について
- 資料3 令和5年度大学コンソーシアムやまがた事業報告書
- 資料4 令和5年度大学コンソーシアムやまがた収支決算書（案）
- 資料5 監事監査に関する資料
- 資料6 令和6年度 大学コンソーシアムやまがた事業計画書（案）
- 資料7-1 令和6年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
- 資料7-2 令和6年度 機関負担金（会費）（修正案）
- 資料7（参考） 令和6年度 機関負担金（会費）（令和5年度定期総会承認）
- 資料8 令和7年度 機関負担金（会費）（案）
- 資料9 やまがた社会共創プラットフォーム 組織図（案）

議事録署名人

会長／山形大学長 玉手 晃彦